

製品名: β 2 アドレナリン受容体 (4E18) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe07537**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:200
分子量	46kDa

抗原情報

遺伝子名	ADRB2
別名	ADRB2; ADRB2R; ADRBR; Adrenergic beta 2 receptor surface; Adrenoceptor beta 2 surface; B2AR; Beta-2 adrenoceptor; Catecholamine receptor;
遺伝子 ID	154.0
SwissProt ID	P07550
免疫原	ヒト β 2 アドレナリン受容体の合成ペプチド

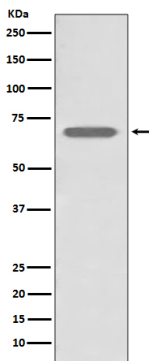
背景

β アドレナリン受容体は、G タンパク質の作用を介して、カテコールアミン誘導性のアデニル酸シクラーゼ活性化を媒介します。 β 2 アドレナリン受容体は、ノルエピネフリンよりも約 30 倍高い親和性でエピネフリンと結合します。 β アドレナリン受容体は、G タンパク質の作用を介して、カテコールアミン誘導性のアデニル酸シクラーゼ活性化を媒介します。 β 2 アドレナリン受容体は、ノルエピネフリンよりも約 30 倍高い親和性でエピネフリンと結合します。

研究分野

カルシウム;神経活性リガンド-受容体相互作用;エンドサイトーシス;

画像データ



A431 細胞溶解物中のベータ 2 アドレナリン受容体発現のウエスタン ブロット分析。